

令和3年度 北陸信越工学教育協会福井県支部（福井大学）学生活動支援
東屋に付随する椅子の作成

福井大学菊地研究室

1. 活動内容

私たち菊地研究室では、使われなくなった保育所の活用を目的として、南越前宅良地区住民と共に任意団体「たくら CANVAS」を立ち上げ、2014年から毎年11月に「たくら CANVAS マーケット」を開催してきた。(2021年は中止)さらに、こうした実績から保育所を南越前町から貸与され長期間利用できるようになったため、教室の一室とトイレを改装し、2021年9月にカフェ「ORION BAKE」がオープンした。改装は自分たちでできる範囲のリノベーション作業を行った。オープンしてからは地域住民をはじめ町外からも多数の来客があり、この場所を地域拠点にするという目標の大きな一歩となった。さらなる発展のため、今年は保育所園庭にて鶏小屋として使用されていた跡地を活用して東屋づくりを行なった。東屋には椅子が収納できる仕組みで、地域の方が保育所に来た時に、この椅子を使ってピクニックをしたり一息ついたり園庭の活用の幅が広がればと考えている。そこで今回学生活動支援として、この椅子作成を支援した。

2. 活動の様子

園庭で使える椅子は写真1のように五角形であり、この椅子を写真2のように東屋の壁にはめ込むようにして収納するデザインとした。精密な加工が必要であり、研究室が所有している機材だけでは不可能であった。そこで福井県池田町にあるウッドラボいけだにて、木材のカット及びロゴの刻印を行った(写真1)。この施設では木材を加工する様々な機械の使い方を教えてもらい、なるべく学生の手で作成するように心がけた。五角形の天板と椅子の足をつなぐ部材は切断面が直角ではなく少しでも曲がると五角形がぐらついてしまう。また、足の長さもそろえなければ椅子全体が安定しないことが分かった。きれいにそろわない場所はやすり掛けや再切断を行うなど試行錯誤を重ね、最終的にはきれいに切断することができた。組み立ては園庭で行ったが、地域の方や先述したカフェ

「ORION BAKE」の利用者が時折作業の様子を見に来られ、作業内容の説明やこれまでの取り組みについてお話しし、交流することができた。



写真1: 椅子



写真2: 東屋と椅子



写真3: 椅子の枠

—作業の様子—



写真 4 : カット



写真 5 : やすりがけ



写真 6 : 様子を眺める地域の方

3. 今後の活用方針

園庭で開催される「たくら CANVAS マーケット」の際には、この東屋を使って出店が可能であり、ステージとしても利用可能である。平常時には、カフェ以外の利用でも気軽に園庭へ足を運びやすくなったことで、町外客、学生、地元住民という、地域や世代の違いを超えた交流の場になればと考えている。東屋や椅子を作成している際に交流できた方々のように、ものづくりに興味がある方は多く、異世代間での交流を望む人もいる。今後は作業に地域の方も呼んで一緒に行うなど、「たくら CANVAS」の活動を通して、さらに地域が活性化する取り組みを行っていききたい。



写真 7 : 椅子で遊ぶ様子



写真 8 : 椅子で遊ぶ様子